

# 町田市内 医療・福祉事業者の 事業系ごみの減量・資源化の取り組み 優良事例集

2025年11月17日 第3号

## 1 廃棄物減量の取り組み事例

- 厨芥類(生ごみ)を、完全消滅型の生ごみ処理機で処理している。
- 入居者の食事嗜好調査を行い、食品ロスを削減している。
- 入居者の食事量をデータ管理し、食数表を作成することで食品ロス削減につなげた。
- 施設内に常備されている賞味期限の近い防災備蓄品は、訪問介護時や家族面会時に提供している。
- 町田市内にあるグループ事業所内のグループホームで、什器を再利用している。
- 職員食堂での紙コップを廃止し、マイコップを導入している。
- 入居者が食べるデザートは、市販のプラスチック容器に入っている商品を提供していたが、手作りに変更したことでプラスチックの排出量削減につながった。

## 2 適正分別と再資源化の取り組み事例

- おむつ交換時に使用するビニール手袋は産業廃棄物として、専用ボックスで分別している。
- ごみ箱に一般廃棄物、産業廃棄物の表示をし、適正分別に努めている。
- 入居者が使用した歯ブラシは、歯ブラシ製造企業に引き取ってもらいリサイクルしている。
- 窓付き封筒はフィルム部分と紙部分を分別して資源化している。
- 事業所内に雑紙BOXを設置し、資源化可能な紙類は全て資源化している。
- プラスチック・ビニール類は業者に引き渡し、再生されたりリサイクル樹脂100%の医療廃棄物BOX『エコペール』として活用され資源循環している。

## 3 CSR(環境分野) 環境に配慮した企業の取り組み事例

- コピー用紙は、FSC 認証紙(森林認証制度)の購入をしている。
- 消耗品などは、環境負荷が少ないエコマークの表記がある製品を購入している。
- 新人職員のオリエンテーションでは、地域貢献として、地域の清掃を毎年実施している。
- 施設館内の照明をLED化している。



→【まずはこちら】事業系廃棄物適正処理  
ルールブックのHP

【お問合せ先】

町田市環境資源部環境政策課3R推進係  
電話：042-797-0530

優良事例は、HPで随時更新いたします。